航空従事者学科試験問題　　M1

資　　格	一等航空整備士（飛行機） 一等航空運航整備士（飛行機） 航空工場整備士（共通）	題数及び時間	２０題　　４０分
科　　目	航空法規等　［科目コード０４］	記　　号	ＣＣＣＣ０４１４７１

☆ 注　　意　（１）「航空従事者試験問題答案用紙」（マークシート）の所定の欄に「受験番号」、「受験番号のマーク」、「科目」、「科目コード」、「科目コードのマーク」、「資格」、「種類」、「氏名」及び「生年月日」を記入すること。

「受験番号」、「受験番号のマーク」、「科目コード」又は「科目コードのマーク」に誤りがあると、コンピュータによる採点処理が不可能となるので当該科目は不合格になります。

（２）解答は「航空従事者試験問題答案用紙」（マークシート）に記入すること。

☆ 配　　点　　１問　５点

☆ 判定基準　　合格は１００点満点の７０点以上とする。

問　1　「航空機」の定義で次のうち正しいものはどれか。
（1）人が乗って航空の用に供することができる飛行機及び回転翼航空機その他政令で定める航空の用に供することができる機器をいう。
（2）人が乗って航空の用に供することができる飛行機、回転翼航空機及び滑空機その他政令で定める航空の用に供することができる機器をいう。
（3）人が乗って航空の用に供することができる飛行機、回転翼航空機及び飛行船その他政令で定める航空の用に供することができる機器をいう。
（4）人が乗って航空の用に供することができる飛行機、回転翼航空機、滑空機及び飛行船その他政令で定める航空の用に供することができる機器をいう。

問　2　航空法施行規則でいう「作業の区分」について次のうち正しいものはどれか。
（1）保守は、修理と整備に区分される。
（2）保守は、修理と整備と改造に区分される。
（3）修理は、保守と整備に区分される。
（4）修理は、保守と整備と改造に区分される。
（5）整備は、保守と修理に区分される。
（6）整備は、保守と修理と改造に区分される。

問　3　「小修理」の定義として次のうち正しいものはどれか。
（1）緊度又は間隙の調整及び複雑な結合作業を伴わない規格装備品の交換又は修理
（2）耐空性に重大な影響を及ぼさない作業であって、その仕様について国土交通大臣の承認を受けた装備品又は部品を用いるもの
（3）耐空性に及ぼす影響が軽微な範囲にとどまり、かつ複雑でない整備作業
（4）軽微な修理及び大修理以外の修理作業

問　4　登録記号を「打刻」するための行為として次のうち正しいものはどれか。
（1）打刻作業が可能な日時と場所を国土交通大臣に届け出る。
（2）所有者は新規登録後遅滞なく打刻を完了し国土交通大臣に報告する。
（3）打刻後の現状について写真により明示して国土交通大臣に報告する。
（4）打刻を受けるため指定された期日に当該航空機を国土交通大臣に提示する。

問　5　法第１０条第４項において耐空証明を行う基準として次のうち正しいものはどれか。
（1）設計及び製造過程
（2）設計、製造過程及び現状
（3）強度、構造及び性能
（4）強度、構造及び性能並びに騒音及び発動機の排出物

問　6　航空機の種類で次のうち正しいものはどれか。
（1）飛行機、回転翼航空機などの区別をいう。
（2）陸上単発、水上多発などの区別をいう。
（3）セスナ 172 型、ボーイング 747 型などの区別をいう。
（4）耐空類別　曲技 A、輸送 T などの区別をいう。

問　7　航空法第１８条（発動機等の整備）で限界使用時間を定めている重要な装備品として次のうち誤っているものはどれか。
（1）排気タービン
（2）起動機
（3）燃料管制器
（4）点火用ディストリビュータ

問　8　事業場の認定の有効期間で次のうち正しいものはどれか。
（1）１年
（2）２年
（3）無期限
（4）業務規程の適用を受ける期間

問　9　航空整備士についての技能証明を受ける要件で次のうち正しいものはどれか。
（1）年齢、整備経歴及び学歴
（2）年齢及び整備経歴
（3）国籍、整備経歴及び学歴
（4）国籍、年齢及び整備経歴

問 10　識別板に関する記述で次のうち正しいものはどれか。
（1）識別板には変更の可能性があるため航空機の所有者名は打刻しない。
（2）識別板には耐火性材料の要件は求められていない。
（3）識別板は長さ１０ｃｍ、幅２０ｃｍのアルミニウム合金材を用いなければならない。
（4）識別板は航空機の出入口の見やすい場所に取り付けなければならない。

問 11　航空機に航空日誌を備える義務を有する者で次のうち正しいものはどれか。
（1）機長
（2）航空機の所有者
（3）航空機の使用者
（4）航空従事者

問 12　滑空機以外の航空機に備え付けなければならない書類で次のうち誤っているものはどれか。
（1）耐空証明書
（2）搭載用航空日誌
（3）航空機登録証明書
（4）型式証明書

問 13　操縦室用音声記録装置について次のうち正しいものはどれか。
（1）最大離陸重量15,000Ｋｇ以上の航空機に限り装備しなければならない。
（2）飛行の目的で発動機を始動させたときから、飛行の終了後発動機を停止させるまでの間、常時作動させなければならない。
（3）離陸に係る滑走を始めるときから、着陸に係る滑走を終えるまでの間、常時作動しなければならない。
（4）記録した音声を６０分以上残しておくことができなければならない。

問 14　航空機の灯火について次のうち正しいものはどれか。
（1）昼間、夜間を問わず空中を航行する場合は灯火により自機を表示しなければならない。
（2）夜間において牽引されて地上を航行する場合は牽引車の衝突防止灯で表示すればよい。
（3）灯火とは右舷灯（緑）、左舷灯（赤）および衝突防止灯（赤または白）の３つをいう。
（4）夜間において使用されない飛行場に停留する場合は灯火による表示は必要ない。

問 15　運航規程に記載しなければならない項目として次のうち誤っているものはどれか。
（1）航空機の操作及び点検の方法
（2）装備品、部品及び救急用具の限界使用時間
（3）航空機の運用の方法及び限界
（4）装備品、部品及び救急用具が正常でない場合における航空機の運用許容基準

問 16　航空法の別表の記載内容で、次のうち正しいものはどれか。
（１）学科試験及び実地試験の科目
（２）資格ごとの業務範囲
（３）資格ごとに年令・整備経歴等の要件
（４）航空法の附則

問 17　航空法施行規則附属書第一に示される耐空類別の摘要欄で用いられている重量として次のうち正しいものはどれか。
（1）最大零燃料重量
（2）最大地上走行重量
（3）最大離陸重量
（4）最大着陸重量

問 18　所定の資格を有しないで航空業務を行った場合の「罰則」で次のうち正しいものはどれか。
（1）１００万円以下の罰金
（2）１年以下の懲役又は３０万円以下の罰金
（3）２年以下の懲役又は５万円以下の罰金
（4）２年以下の懲役

問 19　航空法第１４５条の２「第２０条第１項の認定を受けた者が次の各号のいずれかに該当するときは、１００万円以下の罰金に処する。」に関する次の文章で、（　　）にあてはまる語句として（１）～（４）のうち正しいものはどれか。ただし、航空法第２０条は事業場の認定に関する条文である。

第２０条第２項の規定による認可を受けないで、又は認可を受けた（　　）によらないで、同条第１項の認定に係る業務を行ったとき。

（1）安全管理規程
（2）業務規程
（3）整備規程
（4）整備管理規定

問 20　ヒューマン・ファクタに関する次の文中、（　　）に当てはまる語句として（1）～（4）のうち正しいものはどれか。

ﾋｭｰﾏﾝ･ﾌｧｸﾀ は、人間の（　A　）と限界を最適にし、（　B　）を減少させることを主眼にした総合的な学問である。生活及び職場環境における人間と（　C　）・手順・（　D　）との係わり合い、及び人間同士の係わり合いのことであり、ｼｽﾃﾑ工学という枠組みの中に統合された人間科学を論理的に応用することにより、人間とその活動の関係を最適にすることに関与することである。

（1）Ａ：体力　　Ｂ：疲労　　Ｃ：行動　　Ｄ：能力
（2）Ａ：表現力　Ｂ：事故　　Ｃ：所属　　Ｄ：行動
（3）Ａ：能力　　Ｂ：エラー　Ｃ：機械　　Ｄ：環境
（4）Ａ：生命力　Ｂ：エラー　Ｃ：所属　　Ｄ：環境

航　空　従　事　者　学　科　試　験　問　題　M9

資　格	一等航空運航整備士 （飛行機）	題数及び時間	２５題　　１時間
科　目	機　　体〔科目コード：０９〕	記　号	Ｌ１ＡＸ０９１４７０

☆注　　意　（１）「航空従事者学科試験答案用紙」（マークシート）の所定欄に、「受験番号」、「受験番号のマーク」、「科目」、「科目コード」、「科目コードのマーク」、「資格」、「種類」、「氏名」及び「生年月日」を記入すること。

「受験番号」、「受験番号のマーク」、「科目コード」又は「科目コードのマーク」に誤りがあると、コンピュータによる採点処理が不可能となるので当該科目は不合格になります。

（２）解答は「航空従事者学科試験答案用紙」（マークシート）に記入すること。

☆配　　点　　１問　４点

☆判定基準　　合格は１００点満点の７０点以上とする。

問１　耐空性審査要領においてV_Aとはどのような速度か。次の中から選べ。

（１）　失速速度　　（２）　最大突風に対する設計速度

（３）　設計巡航速度　　（４）　設計運動速度

問２　標準大気の定義で次のうち誤っているものはどれか。

（１）　空気が乾燥した完全ガスである。

（２）　海面上における温度が15 ℃ である。

（３）　海面上の気圧が、水銀柱で1013 mm である。

（４）　海面上の密度は0.12492 kg·s^2/m^{4}である。

問３　容積の換算で次のうち誤っているものはどれか。

（１）　1 USｶﾞﾛﾝは3.785 ﾘｯﾄﾙである。

（２）　1 USｸｫｰﾄは0.855 ﾘｯﾄﾙである。

（３）　1 USﾊﾟｲﾝﾄは0.473 ﾘｯﾄﾙである。

問４　層流と乱流の特性に関する文章の空欄に当てはまる語句の組み合わせで次のうち正しいものはどれか。

乱流はエネルギーが豊富で（　a　）が、層流はエネルギーが少なく（　b　）。
層流中では流速は（　c　）に変化しているが、乱流中では流速の変化は（　d　）である。

	(a)	(b)	(c)	(d)
（１）	剥離しにくい	剥離しやすい	規則的	不規則
（２）	剥離しやすい	剥離しにくい	不規則	規則的
（３）	剥離しやすい	剥離しにくい	規則的	不規則
（４）	剥離しにくい	剥離しやすい	不規則	規則的

問５　テーパ翼の特徴で次のうち誤っているものはどれか。

（１）　翼端部の揚力が小さいので、翼根部の曲げモーメントを小さくできる。

（２）　構造が複雑になり製作に手間がかかる。

（３）　テーパを強くして翼端失速を防止している。

（４）　適当なテーパ比を与えることで、理想的な揚力分布が得られる。

問６　主翼の風圧中心が前方へ移動するのは次のうちどれか。

（１）　水平飛行のとき　　（２）　迎角を大きくしたとき

（３）　飛行速度を増加したとき　　（４）　迎角を小さくしたとき

問７　ファウラ・フラップに関する記述で次のうち誤っているものはどれか。

（１）　翼面積の増加、キャンバの増大及び隙間効果を組み合わせたもの。

（２）　翼の後縁下側に取り付けられたフラップがまず後方へ移動し、その後下がっていく機構である。

（３）　フラップ作動機構が小型化できるため整形カバーも小さくできる。

（４）　構造上あまり大きな下げ角をとることができない。

問８　離陸滑走距離を短くする方法で次のうち誤っているものはどれか。

（１）　機体重量を軽くする。

（２）　翼面積を小さくする。

（３）　翼面荷重を小さくする。

（４）　向かい風を利用する。

問９　M＝0.80で飛行する航空機の速度で次のうち正しいものはどれか。ただし音速は 340m/sとする。

（１）　425 km/h　　（２）　850 km/h

（３）　980 km/h　　（４）　1020 km/h

問10　音速領域をマッハ数の小さい順に並べたもので次のうち正しいものはどれか。

（１）　遷音速 / 亜音速 / 超音速 / 極超音速

（２）　亜音速 / 超音速 / 極超音速 / 遷音速

（３）　亜音速 / 遷音速 / 超音速 / 極超音速

（４）　超音速 / 亜音速 / 遷音速 / 極超音速

問11　高速飛行中にエルロン上面に発生した衝撃波の影響により、操作した側と反対側へ舵面が引っ張られる現象で次のうち正しいものはどれか。

（１）　タックアンダ　　（２）　エルロンバズ

（３）　フラッタ　　（４）　リバース・エルロン

問12　飛行機に最大ゼロ燃料重量が決められている理由で次のうち正しいものはどれか。

（１）　主翼付け根の曲げモーメントに対する強度を確保するため

（２）　着陸時、垂直方向への荷重に対する強度を確保するため

（３）　飛行に必要な搭載燃料を算出するため

（４）　機体のジャッキ・アップが可能な重量を制限するため

問13　右図はある構造部材にかかる２つの力を表したものである。合力は何kgとなるか。次のうち正しいものはどれか。

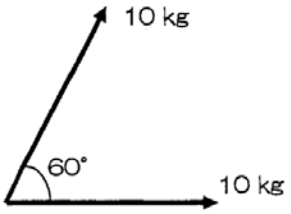
（１）　6.0 kg

（２）　10.0 kg

（３）　13.3 kg

（４）　14.1 kg

（５）　17.3 kg



問14　主翼構造に関する記述で次のうち誤っているものはどれか。

（１）　翼のトーションボックス内の空間は燃料タンクとして利用されている。

（２）　スパーは主に曲げモーメントと剪断応力を受け持っている。

（３）　翼の剛性を高めるため構造部材にチタニウム合金を使用している。

（４）　リブは翼弦方向の構造部材で翼型を保持するものである。

問15　アルミニウム合金に関する記述で次のうち正しいものはどれか。

（１）　５０５６はマグネシウムを含有しており、ＡＤリベットに使用されている。

（２）　２０１７は一般にジュラルミンと呼ばれている。

（３）　２０２４は加工性、耐食性ともに良好であり機体構造に広く使用されている。

（４）　７０７５は加工性が良いため、翼端などに使用されている。

問16　焼ならしの目的で次のうち正しいものはどれか。

（１）　硬さを減じ延性を増し、加工性を良くする。

（２）　機械加工、曲げ、溶接等による歪を取り除く。

（３）　硬さと引張り強さを増す。

（４）　焼入れ後の歪を取り除き脆さを減じる。

問17　硬さの測定法で次のうち誤っているものはどれか。
（1）　ブリネル　　（2）　キャタラック
（3）　ロックウェル　　（4）　ビッカース

問18　次のプラスチック材のうち熱硬化性樹脂はどれか。
（1）　フェノール樹脂　　（2）　フッ素樹脂
（3）　塩化ビニル樹脂　　（4）　ポリエチレン樹脂

問19　ファイヤ・ディテクタのタイプで次のうち誤っているものはどれか。
（1）　サーモカップル型　　（2）　圧力型
（3）　抵抗式ループ型　　（4）　イオン型

問20　操縦系統にアクチュエータが使用されているが、その使用目的で次のうち誤っているものはどれか。
（1）　動翼に発生する振動の伝達を防ぐ。　　（2）　パワー・ブーストとして働く。
（3）　自動操縦装置の信号を系統に加える。　　（4）　動翼が中立点に戻るように働く。

問21　油圧系統の作動油に要求される性質で次のうち誤っているものはどれか。
（1）　実用的に非圧縮性であり、使用中泡立たないこと。
（2）　温度変化による潤滑性の低下を、粘性と流動性で補えること。
（3）　引火点、発火点が高く、燃焼性が低いこと。
（4）　温度変化による成分変化が少ないこと。

問22　複合材料の超音波による非破壊検査法で次のうち誤っているものはどれか。
（1）　透過法　　（2）　反射法
（3）　共振法　　（4）　浸透法

問23　１００ボルトの電源で使用する５００ワットの電熱器の抵抗は何オームか。次の中から選べ。
（1）　２Ω　　（2）　５Ω
（3）　２０Ω　　（4）　２５００Ω

問24　ヨー・ダンパに関する記述で次のうち誤っているものはどれか。
（1）　ヨー・ダンパは釣合旋回のため方向舵を作動させる。
（2）　ヨー・ダンパはタックアンダを防止する。
（3）　ヨー・ダンパはダッチ・ロールを防止する。
（4）　ヨー・レート・ジャイロは旋回率（ヨー角速度）を検知する。

問25　地表波の特徴で次のうち正しいものはどれか。
（1）　周波数が高いほど減衰が少ない。
（2）　海上伝搬と陸上伝搬では、海上伝搬の方が減衰が少ない。
（3）　垂直偏波の方が水平偏波より減衰が大きい。

航空従事者学科試験問題　　M20

資　　格	一等航空運航整備士　（飛　行　機）	題数及び時間	２０題　　５０分
科　　目	タービン発動機　〔科目コード１７〕	記　　号	Ｌ１ＡＴ１７１４７０

☆注　　意　（1）「航空従事者学科試験答案用紙」（マークシート）の所定欄に「受験番号」、「受験番号のマーク」、「科目」、「科目コード」、「科目コードのマーク」、「資格」、「種類」、「氏名」及び「生年月日」を記入すること。

「受験番号」、「受験番号のマーク」、「科目コード」又は「科目コードのマーク」に誤りがあると、コンピュータによる採点処理が不可能となるので当該科目は不合格となります。

（2）解答は「航空従事者学科試験答案用紙」（マークシート）に記入すること。

☆配　　点　　１問　５点

☆判定基準　　合格は１００点満点の７０点以上とする。

問 １　下記の文は耐空性審査要領の「定義」を記述したものである。　文中の（　）に入る語句の組み合わせで次のうち正しいものはどれか。　（１）～（４）の中から選べ。

この要領においてタービン発動機の「離陸出力」とは、各規定高度及び各規定大気温度において、離陸時に常用可能な発動機ロータ軸（ア）及び（イ）で得られる静止状態における軸出力であって、その（ウ）が（エ）に記載された時間に制限されるものをいう。

	（ア）		（イ）		（ウ）		（エ）
（１）	最大回転速度	・	最低ガス温度	・	使用	・	発動機仕様書
（２）	最小回転速度	・	最高ガス温度	・	連続使用	・	発動機取扱説明書
（３）	最小回転速度	・	最低ガス温度	・	使用	・	発動機取扱説明書
（４）	最大回転速度	・	最高ガス温度	・	連続使用	・	発動機仕様書

問 ２　航空エンジンの具備条件に関する説明で次のうち誤っているものはどれか。

（１） 推力重量比が小さいこと
（２） 燃料消費率が低いこと
（３） 飛行中でのエンジン停止率が少ないこと
（４） モジュール構造など整備性が良いこと

問 ３　気体を断熱圧縮した場合の説明で次のうち正しいものはどれか。

（１） 温度は下がる。
（２） 温度は上がる。
（３） 温度は変化しない。

問 ４　ブレイトン・サイクルに関する説明で次のうち正しいものはどれか。

（１） 加熱圧縮　⇒ 定圧加熱　⇒ 加熱膨張　⇒ 定圧放熱
（２） 断熱圧縮　⇒ 定容加熱　⇒ 断熱膨張　⇒ 定容放熱
（３） 加熱圧縮　⇒ 定容加熱　⇒ 断熱膨張　⇒ 定圧放熱
（４） 断熱圧縮　⇒ 定圧加熱　⇒ 断熱膨張　⇒ 定圧放熱

問 ５　タービン・エンジンの出力に関する外的要因で次のうち最も影響の少ないものはどれか。

（１） 大気温度
（２） 大気圧力
（３） 湿度
（４） 飛行速度

問 ６　ラビリンス・シールに関する説明で次のうち誤っているものはどれか。

（１） 非接触型のシールである。
（２） 多数のナイフ・エッジで形成されるシール・ダムを持った金属製のロータがある。
（３） ベアリング・ハウジング外部を低圧にし、内部からシール・エアを導いている。
（４） 空気の漏れ量が増えると、滑油消費量の増加の原因となる。

問 7　ダイバージェント・ダクトに関する説明で次のうち誤っているものはどれか。

（1） 断面が末広がり形状をしている。
（2） 亜音速ディフューザとも呼ばれる。
（3） 速度エネルギを圧力エネルギに変換する。
（4） 空気流の速度を減速し動圧を上昇させる。

問 8　ファン・ブレードにあるミド・スパン・シュラウドの目的で次のうち正しいものはどれか。

（1） ファン・ブレードの流入空気量を増加させ効率を向上させる。
（2） ファン・ブレードの振動や軸方向の空気力によるねじれを防止する。
（3） エンジンの異物吸入による損傷を防止する。
（4） シュラウドを無くしたワイド・コード・ファン・ブレードより騒音を低減できる。

問 9　軸流コンプレッサと比較した遠心式コンプレッサの利点で次のうち誤っているものはどれか。

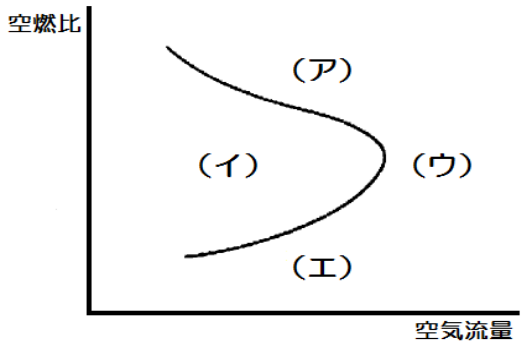
（1） 1 段で得られる圧力比が大きい。
（2） 異物の吸入に対して強い。
（3） 製作が容易で製造コストが比較的安い。
（4） 高圧力比を得るための多段化が容易である。

問 10　軸流コンプレッサのブリード・バルブが抽気する時期で次のうち正しいものはどれか。

（1） 離陸時
（2） 巡航時
（3） 低出力時
（4） オーバ・トルク時

問 11　下図はタービン・エンジン燃焼室の安定燃焼限界を示したものである。　（ア）～（エ）に入る語句の組み合わせで次のうち正しいものはどれか。　（1）～（4）の中から選べ。

	（ア）	（イ）	（ウ）	（エ）
（1）	安定燃焼領域	不安定燃焼領域	過濃限界	希薄限界
（2）	希薄限界	安定燃焼領域	不安定燃焼領域	過濃限界
（3）	過濃限界	希薄限界	安定燃焼領域	不安定燃焼領域
（4）	不安定燃焼領域	過濃限界	希薄限界	安定燃焼領域



問 12　タービンに関する説明で次のうち誤っているものはどれか。

（1） 遠心式コンプレッサと比較すると、ラジアル・タービンではガス流の方向とタービン・ホイールの回転方向は同じになる。
（2） ラジアル・タービンでは円周上に固定されたノズルからタービン・ホイールの中央に向かって燃焼ガスが噴射される。
（3） 軸流タービンにおける個々のベーンをノズル・ガイド・ベーンとよび、これらを組み合わせたものをタービン・ノズルという。
（4） 軸流タービンではノズル・ガイド・ベーンとタービン・ロータで段が構成され、構造としては軸流コンプレッサに類似している。

問 13　ジェット燃料の添加剤で次のうち誤っているものはどれか。

（1） 酸化防止剤
（2） 腐蝕防止剤
（3） 静電気防止剤
（4） 金属活性化剤
（5） 氷結防止剤

問 14　タービン・エンジン用滑油の具備すべき条件で次のうち誤っているものはどれか。

（1） 粘度指数が低いことが求められている。
（2） 高温における酸化安定性が求められている。
（3） 低温における流動性に優れている必要がある。
（4） 比熱や熱伝導率が高いことが必要である。

問 15　排油ポンプの吐出全量が主滑油ポンプより大きい理由で次のうち正しいものはどれか。

（1） 空気の混入および油温の上昇により容積が増加するため
（2） 油温の上昇および低下が激しく油量の増減が多いため
（3） 油温が上昇、降下するとき、アクセサリ・ギア・ボックス内部にある水分が滑油中に混入して油量が増加するため
（4） 滑油タンクへ戻すのに主滑油ポンプより高い圧力が必要なため

問 16　エンジン騒音の発生に関する説明で次のうち正しいものはどれか。

（1） 小型エンジンと大型エンジンの推力が同一ならば、ジェット排気騒音は同じになる。
（2） 小型エンジンと大型エンジンの推力が同一ならば、ジェット排気騒音は小型エンジンの方が大きい。
（3） 小型エンジンと大型エンジンの推力が同一ならば、ジェット排気騒音は大型エンジンの方が大きい。
（4） 約 400 ～ 500 m/s の早いジェット排気速度では、発生する音の強さは排気速度の 2 乗に比例して増加する。

問 17　アイドル付近におけるガス状排出物に関する説明で次のうち正しいものはどれか。

（1） CO は多いが HC と NOx は少ない。
（2） HC は少ないが CO と NOx は多い。
（3） HC と CO は多いが NOx は少ない。
（4） HC と CO は少ないが NOx は多い。

問 18　プロペラ・ピッチ変更機構の分類に関する説明で次のうち誤っているものはどれか。

（1） 調整ピッチ型、可変ピッチ型がある。
（2） 可変ピッチ型には機械式、油圧式、電気式、空気式、組み合わせ式がある。
（3） 定速型にはガバナによる方式や β 方式がある。
（4） 調整ピッチ型には自動型がある。

問 19　次の文はフェザ・プロペラに関する説明であるが、（ア）～（イ）に入る語句の組み合わせで次のうち正しいものはどれか。　（1）～（4）の中から選べ。

不作動エンジンのプロペラ・ブレードを飛行機の進行方向に流し、プロペラ抗力が最小になる位置へピッチを変えることを（ア）といい、逆に（ア）から正常飛行位置へピッチをもどすことを（イ）という。

	（ア）		（イ）
（1）	リバース	・	フェザリング
（2）	アン・フェザ	・	フェザリング
（3）	フェザリング	・	アン・フェザ
（4）	リバース	・	アン・フェザ

問 20　プロペラの同調装置に関する説明で次のうち誤っているものはどれか。

（1） 多発機に装備されるもので、装備される全てのエンジンの回転数を同じ回転数に同調させる。
（2） 全プロペラを同調するために、ひとつの同期モータを用いる方法をマスター・モータ式という。
（3） 全プロペラを同調するために、ひとつのエンジンを用いる方法を 1 エンジン・マスター式という。
（4） 全プロペラを同調するために、マスター・オシレータを用いる方式を電子式という。